

# 令和4年度事業計画

## 法人の概要

### ■基本情報

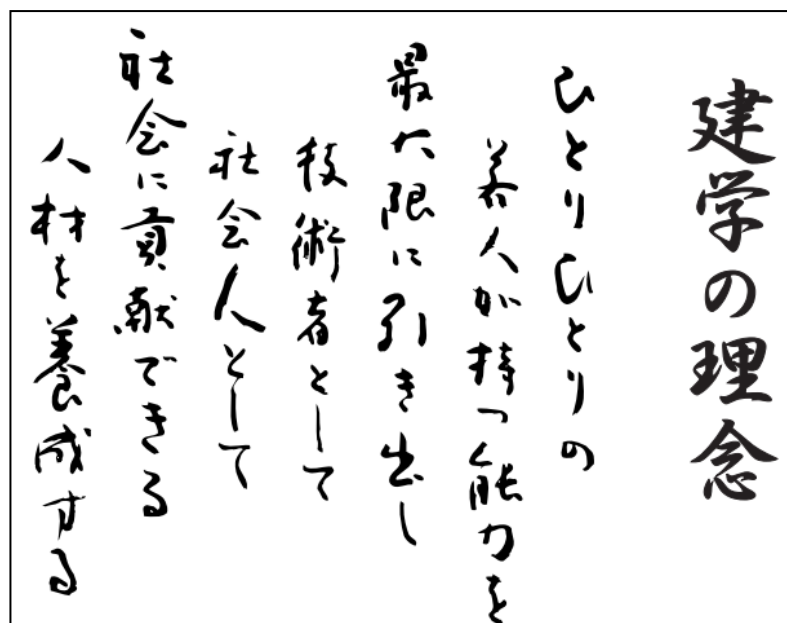
#### 1. 法人の名称について

学校法人加計学園

#### 2. 主たる事務所の住所、TEL、FAX、HPアドレスについて

事業所名	住所	電話番号	FAX番号	HPアドレス
学校法人加計学園法人本部	岡山県岡山市北区理大町1-1	086-256-8403	086-256-8436	<a href="https://www.kake.ac.jp/">https://www.kake.ac.jp/</a>
岡山理科大学	岡山県岡山市北区理大町1-1	086-256-8431	086-256-9702	<a href="https://www.ous.ac.jp/">https://www.ous.ac.jp/</a>
岡山理科大学(今治キャンパス)	愛媛県今治市いこいの丘1-3	0898-52-9000	0898-52-9022	同上
倉敷芸術科学大学	岡山県倉敷市連島町西之浦2640	086-440-1111	086-440-1126	<a href="https://www.kusa.ac.jp/">https://www.kusa.ac.jp/</a>
千葉科学大学	千葉県銚子市潮見町3	0479-30-4500	0479-30-4501	<a href="https://www.cis.ac.jp/">https://www.cis.ac.jp/</a>
岡山理科大学附属高等学校	岡山県岡山市北区理大町1-1	086-256-8511	086-256-8512	<a href="https://okayama.ridaifu.net/">https://okayama.ridaifu.net/</a>
千葉科学大学附属高等学校	千葉県銚子市潮見町3	0479-30-4800	0479-30-4518	<a href="https://www.cis.ac.jp/cish/index.html">https://www.cis.ac.jp/cish/index.html</a>
岡山理科大学附属中学校	岡山県岡山市北区理大町1-1	086-256-8517	086-256-8518	<a href="https://www.richuhp.info">https://www.richuhp.info</a>
岡山理科大学専門学校	岡山県岡山市北区半田町8-3	086-228-0383	086-228-0278	<a href="https://www.risen.ac.jp/">https://www.risen.ac.jp/</a>
玉野総合医療専門学校	岡山県玉野市築港1-1-20	0863-31-6830	0863-33-9067	<a href="https://www.tamasen.ac.jp/">https://www.tamasen.ac.jp/</a>
御影インターナショナルこども園	兵庫県神戸市東灘区御影2-15-27	078-843-2761	078-843-2763	<a href="http://www.kakemik.jp/">http://www.kakemik.jp/</a>

#### 3. 建学の理念



#### 4. 学園の沿革（抜粋）

昭和30年4月	加計学園の出発点ともなった広島英数学館を、加計勉が創立
昭和36年9月	学校法人加計学園設置認可、理事長に加計勉就任、岡山電機工業高等学校設置認可
昭和37年4月	岡山電機工業高等学校開校（全日制、電気科・電子工業科） 初代校長に神崎栄一郎就任
昭和39年1月	岡山理科大学設置認可
昭和39年2月	岡山理科大学設置認可にともない、岡山電機工業高等学校を岡山理科大学附属高等学校に名称変更
昭和39年4月	岡山理科大学開学（理学部応用数学科、化学科） 初代学長に加計勉就任
昭和42年4月	岡山理科大学附属高等学校第2代校長に内藤一人就任
昭和44年12月	真庭郡川上村に岡山理科大学蒜山研究所、蒜山学舎を開設
昭和48年10月	学校法人加計学園の所在地が岡山市の住居表示の変更により、岡山市理大町と町名変更
昭和49年4月	岡山理科大学大学院理学研究科修士課程（化学専攻、応用物理学専攻）を設置
昭和49年4月	岡山理科大学附属高等学校第3代校長に中尾寿夫就任、全寮制特別学級を全寮学級に名称変更
昭和50年4月	岡山高等建築専門学院設置認可
昭和50年5月	岡山高等建築専門学院開校（建築学科夜間部定時制） 初代院長に中尾寿夫就任
昭和51年4月	岡山高等建築専門学院、専修学校法施行により岡山高等建築専門学校に名称変更
昭和53年4月	岡山理科大学大学院理学研究科に博士課程（後期）材質理学専攻を設置
昭和55年4月	岡山理科大学第2代学長に、奥田毅就任
昭和55年4月	岡山理科大学附属高等学校第4代校長に松本卓三就任
昭和55年4月	岡山高等建築専門学校昼間部を増設、第2代校長に片山誠二就任
昭和55年7月	寄附行為変更により総長制度認可、初代総長に加計勉就任
昭和59年4月	岡山理科大学第3代学長に、黒谷寿雄就任
昭和61年4月	岡山理科大学工学部設置
昭和61年4月	岡山理科大学附属高等学校第5代校長に三宅寛就任
昭和61年4月	岡山高等建築専門学校を岡山理科大学専門学校に名称変更
平成2年4月	岡山理科大学第4代学長に、加計勉就任
平成2年4月	岡山理科大学大学院の理学研究科（修士課程 機械理学専攻、電子理学専攻、博士課程 システム科学専攻）を改組し、工学研究科（修士課程機械工学専攻、電子工学専攻、応用化学専攻、博士課程 システム科学専攻）を設置
平成4年1月	岡山理科大学附属高等学校第6代校長に加計晃太郎就任
平成4年4月	岡山理科大学附属高等学校第7代校長に渡辺己巳生就任

平成6年12月	倉敷芸術科学大学設置認可 初代学長に谷口澄夫就任
平成7年4月	倉敷芸術科学大学開学（芸術学部、産業科学技術学部、教養学部）
平成9年4月	岡山理科大学総合情報学部を増設
平成9年12月	玉野看護福祉総合専門学校設置認可
平成10年4月	玉野看護福祉総合専門学校を開校（保健看護学科、介護福祉学科） 初代校長に金政泰弘就任
平成10年4月	岡山理科大学附属高等学校第8代校長に三木輝知就任
平成10年4月	岡山理科大学専門学校第3代校長に村上侑就任
平成11年4月	倉敷芸術科学大学第2代学長に土井章就任
平成11年4月	倉敷芸術科学大学大学院開設（芸術研究科、産業科学技術研究科、人間文化研究科）
平成12年4月	倉敷芸術科学大学教養学部を国際教養学部に変更
平成12年4月	岡山理科大学附属高等学校通信制課程普通科を設置
平成13年1月	学校法人加計学園第2代理事長・総長に加計晃太郎就任
平成13年4月	岡山理科大学大学院修士課程に総合情報研究科（情報科学専攻・シミュレーション物理専攻・生物地球システム専攻・社会情報専攻）設置
平成13年4月	倉敷芸術科学大学大学院芸術研究科に芸術制作表現専攻博士（後期）課程、産業科学技術研究科に計算機科学専攻博士（後期）課程・機能物質化学専攻博士（後期）課程設置
平成13年4月	玉野看護福祉総合専門学校を、玉野総合医療専門学校に変更
平成13年4月	岡山理科大学第5代学長として、山村泰道就任
平成13年9月	岡山理科大学附属中学校設置認可
平成14年4月	倉敷芸術科学大学大学院（通信制）設置
平成14年4月	岡山理科大学附属高等学校第9代校長に北尾正幸就任
平成14年4月	岡山理科大学専門学校第4代校長に逢坂一正就任
平成14年4月	岡山理科大学附属中学校初代校長に善木道雄就任
平成15年4月	倉敷芸術科学大学産業科学技術学部コンピュータ情報学科（通信教育課程）、国際教養学部起業学科（通信教育課程）を設置
平成15年11月	千葉科学大学設置認可
平成16年3月	倉敷芸術科学大学専門学校設置認可
平成16年4月	岡山理科大学第6代学長に宮垣嘉也就任
平成16年4月	倉敷芸術科学大学生命科学部生命科学科、健康科学科を設置
平成16年4月	千葉科学大学開学
平成16年4月	千葉科学大学初代学長に平野敏右就任
平成16年4月	倉敷芸術科学大学専門学校開校
平成16年4月	倉敷芸術科学大学専門学校初代校長に岡本繁通就任
平成17年4月	倉敷芸術科学大学第3代学長に添田喬就任

平成17年4月 岡山理科大学附属高等学校第10代校長に橋爪道彦就任

平成17年4月 岡山理科大学附属中学校第2代校長に新倉正和就任

平成17年4月 岡山理科大学専門学校第5代校長に圓堂稔就任

平成17年4月 玉野総合医療専門学校第2代校長に岡田茂就任

平成19年4月 倉敷芸術科学大学専門学校第2代校長に伊藤敏夫就任

平成20年4月 千葉科学大学大学院薬科学研究科、危機管理学研究科設置

平成20年4月 倉敷芸術科学大学専門学校を倉敷 食と器 専門学校に名称変更

平成20年4月 岡山理科大学第7代学長に波田善夫就任

平成21年4月 岡山理科大学専門学校第6代校長に小林正文就任

平成22年3月 倉敷芸術科学大学国際教養学部（教養学科、起業学科、起業学科（通信教育課程））を廃止

平成22年4月 千葉科学大学大学院薬科学研究科博士課程（後期）、危機管理学研究科博士課程（後期）設置

平成22年4月 千葉科学大学第2代学長に赤木靖春就任

平成22年4月 玉野総合医療専門学校第3代校長に高井研一就任

平成22年4月 倉敷 食と器 専門学校第3代校長に川上雅之就任

平成23年4月 倉敷 食と器 専門学校第4代校長に亀井秀人就任

平成23年10月 倉敷芸術科学大学第4代学長に唐木英明就任

平成24年4月 岡山理科大学生物地球学部設置

平成24年4月 千葉科学大学大学院薬科学研究科を薬学研究科に名称変更、薬学科（6年制）を基礎とした薬学専攻博士課程（4年制一貫）を設置

平成24年4月 千葉科学大学危機管理学部に環境危機管理学科及び動物危機管理学科を設置

平成24年4月 岡山理科大学附属高等学校第11代校長に宮垣嘉也就任

平成24年4月 岡山理科大学附属中学校第3代校長に位田隆久就任

平成24年4月 岡山理科大学専門学校第7代校長に村岡正就任

平成24年4月 倉敷芸術科学大学別科に調理師別科、製菓衛生師別科設置

平成25年3月 倉敷 食と器 専門学校閉校

平成26年4月 千葉科学大学看護学部設置

平成26年4月 認可外保育所 御影インターナショナルこども園 開園

平成26年4月 倉敷芸術科学大学第5代学長に土井章就任

平成27年4月 倉敷芸術科学大学第6代学長に河野伊一郎就任

平成27年4月 岡山理科大学附属中学校第4代校長に河村定彦就任

平成27年4月 玉野総合医療専門学校第4代校長に平井義一就任

平成28年4月 岡山理科大学第8代学長に柳澤康信就任

平成28年4月 岡山理科大学教育学部初等教育学科、中等教育学科を設置

平成28年4月 千葉科学大学第3代学長に木曾功就任

平成28年4月 岡山理科大学附属高等学校第12代校長に洲脇史朗就任

平成29年3月 倉敷芸術科学大学芸術学部美術工芸学科を廃止

平成29年3月	倉敷芸術科学大学大学院芸術研究科工芸専攻修士課程を廃止
平成29年3月	千葉科学大学危機管理学部動物・環境システム学科を廃止
平成29年4月	岡山理科大学経営学部経営学科を設置
平成29年4月	倉敷芸術科学大学危機管理学部危機管理学科を設置
平成29年4月	千葉科学大学危機管理学部工学技術危機管理学科を航空技術危機管理学科に名称変更
平成29年4月	岡山理科大学専門学校第8代校長に奥田宏健就任
平成29年4月	岡山理科大学附属高等学校電気情報科を廃止
平成29年4月	岡山理科大学総合情報学部生物地球システム学科を廃止
平成29年4月	岡山理科大学大学院総合情報研究科生物地球システム専攻修士課程を廃止
平成30年3月	岡山理科大学理学部理学専攻科を廃止
平成30年3月	倉敷芸術科学大学産業科学技術学部観光学科を廃止
平成30年3月	倉敷芸術科学大学生命科学部健康医療学科を廃止
平成30年3月	倉敷芸術科学大学大学院産業科学技術研究科計算機科学専攻修士課程を廃止
平成30年3月	千葉科学大学薬学部薬科学科を廃止
平成30年4月	岡山理科大学獣医学部獣医学科、獣医保健看護学科を設置
平成30年4月	千葉科学大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程を設置
平成30年4月	岡山理科大学附属中学校第5代校長に洲脇史朗就任
平成31年4月	千葉科学大学危機管理学部危機管理システム学科を危機管理学科に名称変更
平成31年4月	千葉科学大学危機管理学部医療危機管理学科を保健医療学科に名称変更
平成31年4月	岡山理科大学附属高等学校第13代校長に田原誠就任
平成31年4月	岡山理科大学附属中学校第6代校長に田原誠就任
令和3年3月	倉敷芸術科学大学産業科学技術学部（経営情報学科）を廃止
令和3年3月	倉敷芸術科学大学大学院産業科学技術研究科計算機科学専攻博士（後期）課程を廃止
令和3年4月	岡山理科大学大学院マネジメント研究科マネジメント専攻修士課程を設置
令和3年4月	倉敷芸術科学大学第7代学長に柳澤康信就任
令和3年4月	岡山理科大学専門学校第9代校長に梶浦文夫就任
令和3年4月	玉野総合医療専門学校第5代校長に北山順崇就任
令和3年12月	岡山理科大学附属高等学校全日制課程教育学科を廃止
令和3年12月	岡山理科大学附属高等学校全日制課程機械科を廃止
令和4年3月	千葉科学大学危機管理学部環境危機管理学科を廃止
令和4年4月	岡山理科大学第9代学長に平野博之就任
令和4年4月	岡山理科大学情報理工学部情報理工学科、生命科学部生物科学科設置
令和4年4月	岡山理科大学理学部応用物理学科を物理学科に、工学部バイオ・応用化学科を応用化学科に名称変更
令和4年4月	岡山理科大学理学部生物化学科、工学部知能機械工学科、総合情報学部情報科

学科募集停止

令和4年4月 千葉科学大学第4代学長に東祥三就任

令和4年4月 千葉科学大学附属高等学校開校（広域通信制課程普通科） 初代校長に太田臣一就任

5. 設置する学校・学部・学科等

学校・学部	学科・課程	入学定員	収容定員
<b>岡山理科大学（岡山市北区理大町1番1号）</b>		<b>学長 平野 博之</b>	
大学院	理学研究科博士課程(後期)	13	39
	理学研究科修士課程	76	152
	工学研究科博士課程(後期)	5	15
	工学研究科修士課程	66	132
	総合情報研究科博士課程(後期)	2	6
	総合情報研究科修士課程	7	14
	生物地球科学研究科修士課程	12	24
	マネジメント研究科修士課程	12	24
<b>大学院 計</b>		<b>193</b>	<b>406</b>
理学部	応用数学科	110	440
	基礎理学科	90	360
	物理学科	45	270
	化学科	75	300
	生物化学科	募集停止	285
	動物学科	45	180
	臨床生命科学科	50	335
工学部	機械システム工学科	90	360
	電気電子システム学科	70	280
	情報工学科	75	360
	応用化学科	60	315
	知能機械工学科	募集停止	165
	建築学科	75	310
	生命医療工学科	25	205
情報理工学部	情報理工学科	210	210
総合情報学部	情報科学科	募集停止	300
	社会情報学科	募集停止	0
生命科学部	生物科学科	165	165
生物地球学部	生物地球学科	140	560
教育学部	初等教育学科	70	280
	中等教育学科	60	240
経営学部	経営学科	160	550
獣医学部	獣医学科	140	700
	獣医保健看護学科	60	240
アクティブラーナーズコース（定員内数）		(30)	(30)
<b>学部 計</b>		<b>1,815</b>	<b>7,410</b>
教職特別課程		50	50
留学生別科		60	60
<b>大 学 計</b>		<b>2,118</b>	<b>7,926</b>

学校・学部	学科・課程	入学定員	収容定員
<b>倉敷芸術科学大学 (倉敷市連島町西之浦2640)</b>		<b>学長 柳澤 康信</b>	
大学院	芸術研究科博士(後期)課程	4	12
	芸術研究科修士課程	10	20
	産業科学技術研究科博士(後期)課程	2	6
	産業科学技術研究科修士課程	8	16
	人間文化研究科修士課程	15	30
<b>大学院 計</b>		<b>39</b>	<b>84</b>
芸術学部	メディア映像学科	50	204
	デザイン芸術学科	50	210
生命科学部	生命科学科	40	180
	健康科学科	55	270
	動物生命科学科	40	194
	生命医科学科	55	220
危機管理学部	危機管理学科	60	300
<b>学部 計</b>		<b>350</b>	<b>1,578</b>
大学院(通信制)	芸術研究科修士課程	10	20
	産業科学技術研究科修士課程	20	40
	人間文化研究科修士課程	30	60
留学生別科		40	80
<b>大 学 計</b>		<b>489</b>	<b>1,862</b>
<b>千葉科学大学 (銚子市潮見町3)</b>		<b>学長 東 祥三</b>	
大学院	薬学研究科博士課程	3	12
	薬学研究科博士課程(後期)	5	15
	薬学研究科修士課程	10	20
	危機管理学研究科博士課程(後期)	3	9
	危機管理学研究科修士課程	5	10
	看護学研究科修士課程	5	10
<b>大学院 計</b>		<b>31</b>	<b>76</b>
薬学部	薬学科	100	700
	生命薬科学科	募集停止	0
危機管理学部	危機管理学科	120	480
	保健医療学科	80	320
	航空技術危機管理学科	40	160
	動物危機管理学科	60	240
看護学部	看護学科	90	330
<b>学部 計</b>		<b>490</b>	<b>2,230</b>
留学生別科		40	40
<b>大 学 計</b>		<b>561</b>	<b>2,346</b>
<b>岡山理科大学附属高等学校 (岡山市北区理大町1番1号)</b>		<b>校長 田原 誠</b>	
全日制課程	普通科	400	1,200
通信制課程			600
<b>学 校 計</b>		<b>400</b>	<b>1,800</b>
<b>千葉科学大学附属高等学校 (銚子市潮見町3)</b>		<b>校長 太田 臣一</b>	
広域通信制課程	普通科		400
<b>学 校 計</b>			<b>400</b>
<b>岡山理科大学附属中学校 (岡山市北区理大町1番1号)</b>		<b>校長 田原 誠</b>	
<b>学 校 計</b>		<b>80</b>	<b>240</b>



学校・学部	学科・課程	入学定員	収容定員
<b>岡山理科大学専門学校（岡山市北区半田町8番3号）</b>		<b>校長 梶浦 文夫</b>	
工業専門課程	建築学科(昼)	40	80
	建築学科(夜)	20	40
商業実務専門課程	映像情報学科(昼)	募集停止	0
文化・教養専門課程	愛玩動物看護学科	40	120
	トリミング学科	40	80
	動物飼育トレーニング学科	40	80
	アクアリウム学科	40	80
建築学科専攻科		15	15
動物系総合学科研究科		15	15
<b>学 校 計</b>		<b>250</b>	<b>510</b>
<b>玉野総合医療専門学校（玉野市築港1丁目1-20）</b>		<b>校長 北山 順崇</b>	
医療専門課程	保健看護学科	40	160
	理学療法学科	40	160
	作業療法学科	40	160
教育・社会福祉専門課程	介護福祉学科	募集停止	0
<b>学 校 計</b>		<b>120</b>	<b>480</b>
<b>御影インターナショナルこども園（神戸市東灘区御影2丁目15-27）園長 澤井 育子</b>			
御影インターナショナルこども園			120
M-KISS			事業休止
御影小規模保育ルーム			19
<b>園 計</b>			<b>139</b>

## 6. 役員概要

①定員 理事：9～13名、監事：2名

②役員の名等（令和4年5月1日）

No	氏名	役員	常勤区分	就任年月日	主な現職
1	加計 晃太郎	理事長	○	R2.6.1	加計学園総長
2	加計 役	副理事長	○	R2.6.1	加計学園総合企画局長
3	北村 良人	専務理事	○	R2.6.1	加計学園法人本部事務局長
4	平野 博之	理事	○	R4.4.1	岡山理科大学学長
5	柳澤 康信	理事	○	R4.4.1	倉敷芸術科学大学学長
6	東 祥三	理事	○	R4.4.1	千葉科学大学学長
7	田原 誠	理事	○	R4.4.1	岡山理科大学附属中・高等学校 校長
8	越宗 孝昌	理事		R2.6.1	会社相談役
9	加計 正弘	理事		R2.6.1	会社役員
10	村田 誠四郎	理事		R2.6.1	会社役員
11	伊原木 一衛	理事		R2.6.1	会社役員
12	木澤 克之	監事		R3.12.1	弁護士
13	唐井 一成	監事		R2.6.1	医師

7. 評議員の概要

①定員：23～32名

②評議員の氏名等（令和4年5月1日）

氏名	就任年月日	主な現職
加計 晃太郎	R1. 6. 1	加計学園総長
加計 役	R1. 6. 1	加計学園総合企画局長
南 善子	R4. 4. 1	岡山理科大学副学長
松浦 洋司	R4. 4. 1	岡山理科大学副学長
富岡 直人	R2. 4. 1	岡山理科大学副学長
秦 敬治	R1. 6. 1	岡山理科大学副学長
劉 渤江	R2. 4. 1	岡山理科大学情報理工学部長
池田 正五	R4. 4. 1	岡山理科大学生命科学部長
黒田 正博	R4. 4. 1	岡山理科大学経営学部長
吉川 泰弘	R1. 6. 1	岡山理科大学獣医学部長
加計 悟	R1. 6. 1	倉敷芸術科学大学副学長
森山 知己	R2. 4. 1	倉敷芸術科学大学副学長
村山 公保	R3. 4. 1	倉敷芸術科学大学危機管理学部長
細川 正清	R3. 4. 1	千葉科学大学副学長
佐藤 庫八	R4. 4. 1	千葉科学大学副学長
安藤 智子	R2. 4. 1	千葉科学大学看護学部長
伊原木 省五	R1. 6. 1	会社役員
原 憲一	R1. 6. 1	会社役員
加計 康晴	R1. 6. 1	会社役員
妹尾 康之	R1. 6. 1	会社役員
畑 茂穂	R3. 5. 26	加計学園監査室参与
太田 臣一	R4. 4. 1	千葉科学大学附属高等学校校長
北山 順崇	R3. 4. 1	玉野総合医療専門学校校長
梶浦 文夫	R3. 4. 1	岡山理科大学専門学校校長
宗 誉志雄	R1. 6. 1	岡山理科大学同窓会会長
神田 修	R1. 6. 1	岡山理科大学附属高等学校同窓会会長
北村 良人	R1. 6. 1	加計学園法人本部事務局長
小山 亜紀	R1. 6. 1	倉敷芸術科学大学事務局長
片寄 茂夫	R1. 6. 1	岡山理科大学事務局長
松隈 宗裕	R4. 4. 1	千葉科学大学事務局長
川西 宏	R1. 6. 1	加計学園危機管理室参与
大月 史嗣	R1. 6. 1	加計学園国際交流局長

## 8. 予算の概要

### ■ 資金収支予算書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

収入の部 (単位：千円)

科目	金額
学生生徒等納付金収入	16,728,487
手数料収入	376,088
寄付金収入	93,501
補助金収入	2,221,321
資産売却収入	0
付随事業・収益事業収入	396,267
受取利息・配当金収入	19,004
雑収入	460,703
借入金等収入	1,000,000
前受金収入	2,525,182
その他の収入	1,568,450
資金収入調整勘定	△ 3,038,938
前年度繰越支払資金	12,781,759
計	35,131,824

支出の部 (単位：円)

科目	金額
人件費支出	11,470,471
教育研究経費支出	4,981,956
管理経費支出	1,417,974
借入金等利息支出	71,495
借入金等返済支出	2,179,156
施設関係支出	654,381
設備関係支出	899,374
資産運用支出	593,709
その他の支出	1,834,512
資金支出調整勘定	△ 1,319,577
翌年度繰越支払資金	12,348,373
計	35,131,824

### ■ 事業活動収支予算書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(単位：千円)

科目		金額
教育活動収入	学生生徒等納付金	16,728,487
	経常費等補助金	2,220,194
	その他の収入	1,325,739
	計	20,274,420
教育活動支出	人件費	11,640,126
	教育研究経費	7,400,066
	管理経費	2,035,756
	その他の支出	0
計	21,075,948	
教育活動収支差額		△ 801,528
教活外	受取利息等	19,004
	借入金利息等	71,495
	教育活動外収支差額	△ 52,491
経常収支差額		△ 854,019
特別	その他の特別収入等	70,667
	資産処分差額等	0
特別収支差額		70,667

基本金組入前当年度収支差額	△ 783,352
基本金組入額合計	△ 2,198,367
当年度収支差額	△ 2,981,719
前年度繰越収支差額	△ 35,603,691
基本金取崩額	0
翌年度繰越収支差額	△ 38,585,410

# 令和4年度 事業計画



## 法人本部

自律的かつ継続的なガバナンスとコンプライアンスの強化により内部統制機能を高め、学校法人としての社会的責務を果たして参ります。



### I. 教育・研究の推進について

#### 1. 教育・研究環境の充実と向上に関する中期目標

学生生徒に安心・安全でエコなキャンパス環境を提供するとともに、教職員の職場環境の改善を目指す。

中期計画	事業計画
<p>【1】耐震化を含めた安全なキャンパス整備に関する計画</p> <p>耐震化診断が必要でかつ使用目的が確定している建物については、令和8(2026)年度までに診断を実施し、耐震化に予算を設け各設置校と協議し耐震工事を順次進め耐震化率を高める。</p> <p>また、耐震基準のない老朽施設については、取壊しを含めた今後の使用方法について、事業計画化する。</p>	<p>新耐震基準に改正された昭和56年以前の校舎について順次耐震化の改修工事を行う。今年度は令和5年度竣工予定のD1号館耐震改修工事に着工する。</p>
<p>【2】省エネルギーに関する計画</p> <p>職場環境配慮義務を遵守しつつ上限温度の設定による空調機の使用と、PC、コピー機等各種機器の節電により消費電力削減を図り、各設置校担当部署と省エネ委員会等を通じて連携し、老朽化した空調・照明等の機器設備を順次省エネ対応型に更新する。</p>	<p>各設置校での省エネルギー推進委員会分科会を年4回、学園全体の省エネルギー推進委員会を年2回実施し、空調・照明・節水等省エネルギーに資する取組を推進することで、特定事業者の評価Sクラス入り（省エネ優良事業者）を図る。</p>
<p>【3】水質等の衛生環境の保全に関する計画</p> <p>排水処理施設の安定した処理を維持するとともに、各設置校担当部署及び委員会等を通じて連携し、水道施設を含めた必要な設備改修及び適切な廃棄物処理の助言等を行う。併せて、薬品管理システムの利用推進を行う。</p>	<p>水質汚濁防止法に基づく、3大学における特定施設（実験流し）の定期的な点検の状況確認を行い、それに基づき大学に助言を行う。</p> <p>岡山キャンパス下水道接続に伴う学内整備計画の立案を、水質管理室と施設・管財課とで協力して行う。</p>
<p>【4】防災・防犯に関する計画</p> <p>安心安全な修学環境を提供するため、消防計画を見直し、防災用品の整備、啓蒙活動、避難訓練などにより防災意識の向上にむけた取組を行う。</p>	<p>防災体制の整備に努め、防火・防災避難訓練、AED取扱訓練を実施し、教職員及び学生生徒の参加型訓練により、安全意識の向上を図る。</p>

## 2. 将来構想の具現化に関する中期目標

学園設置校を中心に関連学園と情報共有を図り、学生生徒の教育活動を充実すべく学びの環境を提供する。

中期計画	事業計画
【5】将来構想の具現化に関する計画 学園設置校、関連学園と情報共有のもと、学びの環境の充実に向けた企画・運営を検証・評価できる体制を整えることにより具現化する。	社会人の学び直し需要と高等教育機関での受入状況を調査し、遠隔授業を含めた最適な授業方法や受入体制などの制度構築を提案する。また、退学率抑制のため、学生メンター制度の確立を模索し、各設置校への学生支援方策を検討する。

## II. 学生生徒の支援について

### 1. 学生生徒の多様性への対応に関する中期目標

学生生徒の多様化に対応できる教職員の育成研修や人材確保を行い、留学生を始めとした様々な背景をもつ学生生徒が安心して修学できる教育環境を整備する。

中期計画	事業計画
【6】新たな研修制度に関する計画 職員が学生生徒への支援に必要な専門的なスキルや知識を各部署毎に洗い出し、職種・職位別に求められる知識・能力を「職員業務ガイド」として作成する。	各部署において専門知識として必要な資格を調査し、研修立案を行う。 制度設計が行えた分野もしくは部署から、資格取得研修を実施する。
【7】留学生の満足度向上に関する計画 就職力や在学中の満足度の高さが大学選択の基準となっている中で、設置校担当部署と連携し、学習支援と就職支援を行う。	学生課と連携して学習支援センター利用促進（年間3回以上）を指導するとともに、キャリア支援センターと連携して、留学生が就労可能な国内外の企業への就職を支援する。
【8】学生支援人材の確保に関する計画 心身の障がい、多言語・異文化・LGBT等により社会生活や学校生活に不安を抱える学生の実態を把握し、寄り添った支援が可能な職員（カウンセラー等）を配置する。	令和2年度から令和4年度までの支援が必要な学生生徒の数、支援内容等の状況及び設置校毎の人事計画を把握する。

## III. 地域社会との連携について

### 1. 地域との良好な関係構築に関する中期目標

隣接する多くの地域の方々との関係を良好に維持し、地域に信頼される学園を目指す。

中期計画	事業計画
【9】地域との良好な関係構築に関する計画 近隣町内会及び自衛隊各種団体等多くの組織との関係を良好に維持するため、会合や定例行事等に積極的に参加し、相互の情報交換を行う。	各団体との良好な関係を維持するため、今年度は自衛隊など6団体の定例会に参加し、学園への意見や要望の聴き取りや情報交換を行う。

## 2. 学園のブランドアップに関する中期目標

各設置校が保有する多彩な研究力を効率的に発信していくとともに、研究施設などの見学を通して、学園の魅力をPRし、地域・社会への学園ブランドの浸透を図る。

中期計画	事業計画
<p>【10】発信力強化に関する計画</p> <p>広報発信の設置校統合拠点としての機能を備えるため、SDGsへの設置校のとりくみのPRを含めて単年度ごとのブランディング戦略プランの目標を設定し、着実に具体化を進めていく。</p>	<p>学園各設置校の広報発信の統合拠点として、学園広報室主催で広報セミナー等を中心に展開する。</p>

## IV. 国際化の推進について

### 1. 国際化の推進に関する中期目標

教育研究や文化など質の高い国際交流事業を展開するとともに、協定校との連携交流の深化により学生生徒の国際性の涵養を目指す。

中期計画	事業計画
<p>【11】質の高い国際交流事業との深化・継続に関する計画</p> <p>交流事業を見直し、組織的な取組みとし継続性を高め、さらに協定校を拡充するとともに従来の交流事業を細分化・最適化するとともに専門性を高める学園独自の交流事業へとシフトする。</p>	<p>設置校の教育研究を洗い出し、国際的な連携を希望している学部学科と海外協定校との橋渡しを進め、より専門性の高い交流プログラムを展開する。</p>
<p>【12】日本語教育の普及と別科に関する計画</p> <p>日本語教育の普及を図るため、日本語教育センターを拠点として海外に留学生別科を設置する。</p>	<p>日本語教育の普及のため、Webを使った学生交流など、手掛けやすいプログラムから着手し、各々の教育機関の特殊性に応じた交流を進める。</p>

## V. DXの推進について

### 1. DXの推進に関する中期目標

情報セキュリティの強化と平行して、DXの推進によりデジタルネイティブな人材の育成と確保により、業務の効率化と最適化を図り、時間と労力の削減により働き方改革を目指す。

中期計画	事業計画
<p>【13】DX推進による業務の効率化に関する計画</p> <p>勤怠管理や給与明細のWeb化、電子決裁・会議資料の電子化などを導入する。</p>	<p>ベンダーが提供するシステムを組み合わせ、安価な電子決裁システムの内製化が可能か否かの検証と併せて、既製品導入を検討する。</p> <p>また、勤怠システム及びそれに付随する給与明細のWeb化の導入に向けて、システム導入による業務効率の検証を行い、システム内容を検討する。</p>

中期計画	事業計画
<p>【14】情報セキュリティの強化に関する計画</p> <p>学園全体のネットワーク構成図を作成し、セキュリティ対策に関する調査を行う。</p>	<p>セキュリティ対策としてゼロトラストセキュリティーの導入を検討するにあたり、ランニングコストと安全性の担保について、複数社の製品を比較する。</p> <p>また、業務改善・働き方プロジェクト分科会とも連携を図り、導入に向けた意見交換会を定期的に開催する。</p>

## VI. ガバナンス体制と内部質保証システムについて

### 1. 自律的なガバナンスの改善・強化に関する中期目標

中期計画の進捗管理により内部統制システムを機能させことで理事会・評議員会の実質化と監事機能の強化に繋げ、自律的なガバナンスが発揮できる組織を目指す。

中期計画	事業計画
<p>【15】中期計画の点検・評価に関する目標</p> <p>法人本部の中期計画進捗管理や学園の法令遵守への取組状況を点検・評価する組織を整備し、継続的かつ自律的な改善活動を実施できる体制を構築する。</p>	<p>法人本部の中期計画の進捗管理について、点検内容・組織体制を整備する。</p>
<p>【16】積極的な情報公開に関する計画</p> <p>ステークホルダーの理解を得て学校法人としての社会的責任を果たすため、私立学校法等により規定されている情報公開事項はもとより加計学園大学ガバナンスコードにより自ら定めた情報を積極的に公表する。</p>	<p>私立大学等経常費補助金「一般補助」における情報の公表項目を全て公表するため、中教審の状況等を把握し、各設置校に情報提供を行う。</p>
<p>【17】コンプライアンスの強化に関する計画</p> <p>職員のコンプライアンスの意識向上を図り社会的責任を果たす組織とするために、コンプライアンスに関する研修を継続的に企画し実施する。</p>	<p>サイバーセキュリティ基本法の理解を深め、情報セキュリティ研修を実施する。</p>
<p>【18】理事会・評議員会の実質化に関する計画</p> <p>理事会・評議員会における意思決定が適切に行われるよう、監事による意見をふまえた十分な審議と意見交換を促進するため、学校法人運営に係る情報を提供する。</p>	<p>役員等を対象とした、文部科学行政の動向や法改正等の情報提供を行う研修の時期及び内容について企画立案する。</p>

中期計画	事業計画
<p>【19】 監事監査機能の強化に関する計画</p> <p>改正私立学校法に対応した監事の機能強化を図るため、認証評価の指摘事項及び履行状況調査等の留意事項を踏まえながら監査項目に追加する。さらには、経営・教学・財政等の監査も強化するとともに見直しも行い項目の充実を図る。</p>	<p>監事の職責の重要性を共有しつつ、監査室を中心として実効性のある監査項目や体制について検討、立案する。</p> <p>た、監事と公認会計士との連携を密にし、情報提供や情報共有を強化できる体制を構築する。</p>

## 2. 組織力の向上と活性化に関する中期目標

職員個々の能力開発を行うと同時に、個々の能力を最大限に発揮できる多様な働き方により組織力の向上を目指す。

中期計画	事業計画
<p>【20】 職員個々の能力開発に関する計画</p> <p>「学園の目指すべき職員像」及び「人材育成研修の目的」に基づき、規程の整備と併せ、職員個々の能力開発システムを確立する。</p>	<p>人事評価制度と人材育成プログラム研修に関連性を持たせられるか、また、如何に個人の能力を高められるかを検証するとともに、関連する規程を整備する。</p>
<p>【21】 働き方改革に関する計画</p> <p>多様な働き方が進行する中、働き方改革関連法と連動した人事・労務管理を実施するため、就業規則の改定を含め規程及び体制を整備する。</p>	<p>厚生労働省関係の法改正に、現行の学園規程が対応できているか確認を行い、未対応のものがあれば整備する。</p>

## 3. 財政基盤の構築に関する中期目標

積極的な収入増加と支出抑制対策を講じ、教育活動の基本となる経常収支差額が黒字となる安定的な財政基盤の構築を目指す。

中期計画	事業計画
<p>【22】 収入増加に関する計画</p> <p>積極的に受配者指定寄付金の依頼を行い、寄付金収入の増大を図る。</p>	<p>学生生徒の学びの環境の充実に向けて、寄付者に対して税制上の優遇措置が行われる受配者指定寄付の依頼を行う。</p>
<p>【23】 経常費補助金の獲得に関する計画</p> <p>文部科学行政等の動向を注視し、外部資金の趣旨と現状の教育研究資源を対比したうえで、獲得の向上に必要な改善案を策定する。</p>	<p>各大学の強みと弱みを分析し、どの項目に力を入れるべきか検討を行うとともに、各大学の補助金業務担当者との情報のすり合わせを行い、重点項目を確定する。</p>
<p>【24】 支出抑制に関する計画</p> <p>各種契約に基づく保守料等について定期的に見直しの機会を設け、契約内容の妥当性について、点検を実施する。</p>	<p>年度更新時に担当部署と内容確認を行い、金額の見直しを行う。</p>



## 教職員数

### ■職員数

(令和4年5月1日現在)

事務職員
100

(単位：人)

## 財務関係

### ■事業活動収支

(単位：千円)

科目		年度	令和4年度 予算額	令和3年度 決算額
教育活動 収支	収入	学生生徒等納付金	0	0
		経常費等補助金	0	85
		その他収入	0	46,559
		計	0	46,644
	支出	人件費	87,521	90,744
教育研究経費		250	1,232	
管理経費		299,237	208,225	
その他支出		0	0	
	計	387,008	300,202	
教育活動収支差額			△ 387,008	△ 253,557
教 活 外	収入	受取利息等	18,962	22,370
	支出	借入金利息等	1,297	1,199
		教育活動収支差額	17,665	21,171
経常収支差額			△ 369,343	△ 232,386
特 別	収入	資産売却差額等	0	4,400
	支出	資産処分差額等	0	62,788
		特別収支差額	0	△ 58,388
基本金組入前収支差額			△ 369,343	△ 290,775
基本金組入額合計			△ 65,337	△ 242,700
当年度収支差額			△ 434,680	△ 533,475

### ■財務改善への取組

法人本部の収支については、収入項目がないため管理経費を如何に抑制するかが課題となります。現在燃料費が高等傾向にあることと、コロナ禍での行動規制が緩和されつつあることから、旅費及び委託費など増額となる見込みですが、コロナ禍で醸成されつつあるオンライン文化を追い風とし、また今年度より取組むDXの推進により効率的かつ効果的な活動や、従来の定例事業及び各種契約等見直しを進めることで経費の抑制を図って参ります。

### ■施設設備整備計画（抜粋）

主な装置・設備関係

(単位：千円)

事業名	金額
会計システムサーバ更新	7,500